

## 令和5年度 部活動 活動結果

春季総合体育大会の結果（文化部は大会の結果）をお知らせします。

### 運動部

#### 陸上競技部

##### 結果

- 男子100m 7位 加納尚也
- 男子4×100mR 3位 加納尚也、村嶋修斗、井川羽琉、土井悠暉
- 男子走幅跳 3位 箕田朔太郎
- 男子三段跳 7位 箕田朔太郎
- 女子ハンマー投 1位 山中奈々
- 女子やり投 4位 林優里
- 女子走幅跳 7位 水澤優沙
- 女子棒高跳 7位 寺田真菜



##### 講評

滋賀国体が開催される平和堂 HATO スタジアムで行われた初めての春季総体である。選手にとっては、厳しい冬季練習を乗り越え、近畿インターハイを目指して挑んだ大会であった。結果としては4種目で近畿大会出場権を獲得した。惜しいところで近畿大会出場を逃して悔しい思いをした選手や、初めて準決勝や決勝に進んだり自己ベストが出せたりし練習の成果を発揮できた選手も多かった。今大会がこれから頑張る原動力となったため今後の活躍に期待したい。（顧問より）

#### バドミントン部

##### 結果

##### 【個人戦】

- ダブルス 初戦敗退
- シングルス
- 山本慶咲（3年） 渡辺琥太郎（2年） 津田遥奈（2年）が初戦突破

##### 【団体戦】

- 男子VS近江 2-3 負け
- 女子VS八日市 0-5 負け

##### 講評

個人戦は3年生の最後の大会だけあって、非常にレベルの高い大会となった。しかし、本校も2年生ながら初戦を突破する者もあり、可能性を感じさせる試合内容だった。敗北をした者も、競る展開も多々あり、見応えのある試合が多かった。

団体戦は、男子は最終シングルスまでもつれる展開となり、惜敗。しかし、3年生の勇姿が見られて胸が熱くなった。女子は1、2年のみの若いチームであり、敗北はしたが、今後期待できる試合内容であった。（顧問より）



## 卓球部

### 結果

男子学校対抗 2回戦 守山北高校 3-2勝利

3回戦 河瀬高校 0-3敗退

男子シングルス 三浦 1回戦敗退

山本 森嶋 安達 2回戦敗退

男子ダブルス 三浦・山本組 1回戦勝利 2回戦敗退

森嶋・安達組 2回戦、3回戦勝利 4回戦敗退



### 講評

個人戦は試合に望むための体と気持ちの準備をチームのテーマとして取り組むことができた。内容は悪くなかったが、あと1点2点が遠く、勝負の厳しさを痛感した。

団体戦はチーム一丸でつかみ取った価値のある勝利となった。最後までもつれる緊張感のある展開のなか、粘り強く勝ち筋を探し続ける3年生の意地を感じる事ができた。

ダブルスは、大雨の影響で順延となり1週間遅れての試合となった。

調整が難しい中、全ペアが初戦を突破する健闘ぶりであった。劣勢でもひるまずに練習の成果を発揮し、諦めず勝負にこだわるプレーが多く見られた。(顧問より)

## バスケットボール部 男子

### 結果 1回戦敗退

石部	八幡
56	57
9 — 13	
11 — 13	
13 — 7	
14 — 14	
9 — 10	

### 講評

第1Q、第2Qと選手に緊張がみられ、パスやマークといった連携でのミスが多くあり、リードを許して前半戦を終えた。流れは基本八幡にあり、苦しい展開が続いた前半戦であったが、第3Qに入ると石部が一気に追い上げムードを見せた。2点のリードを許してはいるものの、完全に試合の流れを掴み、両者一步も譲らない中で第4Q、石部がついに追いついた。一時10点以上の得点差をつけら

れながらも、この第4Qでは逆に最大5点差をつけた。しかし、疲れもあったのか残り2秒で追いつかれ、迎えた延長戦で惜しくも1点差で負けた。

八幡は選手の人数が多く、1本シュートを決めるたびに大盛り上がりし、数的不利な部分を感じた。しかし、そうした不利な部分や前半戦の苦しい展開がありながらも、勝利に向けて試合終了までひたむきに全力でプレーしてくれ、勝利への執念を感じた。また、苦しい展開でも選手たちが自ら「いけるいける!」と雰囲気を作り、精神的な成長もみられた。

こうした評価できる部分もある中で、課題も多く残った。1番の課題はベンチワーク。今回の試合ではスタメンの選手と代替の選手で大きな実力差がみられ、選手が入れ替わっても戦力があまり落ちない八幡とは対照的であった。また、得点率向上も課題として挙げられる。最終的に1点差で負けており、たったフリースロー1本で結果が変わっていたかもしれない。そうしたシュート1本、プレー1つへの意識が希薄であったと感じる。

選手たちは本当によく頑張ったが、もっと成長していけるチームである。これからも練習を重ね、次の大会では1勝を掴み取る。(顧問より)

## バレーボール部 女子

### 結果

予選リーグ 1 回戦	
石部	守山北
0	2
$\left[ \begin{array}{l} 5 - 25 \\ 15 - 25 \end{array} \right]$	

予選リーグ 2 回戦	
石部	比叡山
1	2
$\left[ \begin{array}{l} 26 - 24 \\ 16 - 25 \\ 19 - 25 \end{array} \right]$	

### 講評

1年生が入部し、数年ぶりに単独チームとして大会に出場できた。昨年度大会で感じた課題に取り組み、練習に励んできた。1回戦は緊張もあって思うようなプレーをすることができず、ストレートで敗退。2回戦は皆落ち着きを取り戻してプレーをすることができた。しかし、後半は相手の追い上げに粘り負けしてしまい、惜しくも敗退した。

2、3年生は自らの課題に対し、思い切ったプレーをすることができた。結果は伴わなかったが、内容に関しては上出来で、大きな成長を見ることができた。1年生は初めての高校生大会ということもあり、終始硬さが見られたが、自分なりに努力し思い切ったプレーを心がけてくれた。

次の大会に向けて、今後更なる成長を期待する。(顧問より)



## 硬式野球部

令和5年度 春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

### 結果

対伊吹高校 2-9 負け(7回コールド)

### 講評

初回から2点を失い苦しい展開だったが、二死一、三塁から左翼手沖(1年)の攻守によりピンチを脱する。四回表、3番高橋(2年)、4番瀧瀬(2年)の連続安打と相手のミスもあり無死満塁のチャンスを作ると7番尾曲(3年)の適時打により1点を返す。四回裏、粘りを見せていた尾曲だったがこの回に捕まり4点を失う。五回表、先頭の永田(3年)が四球により出塁すると、2番渡辺(2年)の左安打と相手のミスが重なり1点を返す。しかし6回、7回と踏ん張り切れずコールド負けを喫した。

チャンスは作ることができたがそれを得点につなげられなかったのが課題である。最後の夏の大会でよりよいパフォーマンスを発揮できるよう最善の準備をしていく。(顧問より)

## テニス部 男子

### 結果

#### シングルス予選

高井健人 2回戦 2-6で敗退

坂 孝洋 1回戦 7-5で勝利

2回戦 6-0で勝利

3回戦 0-6で敗退

(勝者ブロック決勝で勝利本戦へ)

出口海瑠 1回戦 6-2で勝利

2回戦 0-6で敗退

#### ダブルス予選

高井・坂 2回戦 5-7で敗退

出口・田中怜阿 1回戦 6-3で勝利

2回戦 1-6で敗退

### 講評

1年生にとっては初の公式戦。初戦は誰もが緊張気味であったが、次第に練習のように落ちついて進められるようになった。シングルスにおいてブロック決勝まで進めたことは、部員にとって大きな励みになったことと思われる。それに引き替えダブルスは日頃のペアとしての練習が不足しており、今後の課題である。この大会での今後の目標や練習での仕方などを意識し、7月の夏季ジュニア大会に臨みたい。(顧問より)

## テニス部 女子

### 結果

#### ダブルス予選

大宮・福井 1回戦 6対1で勝利

2回戦 5対7で敗退

(勝者ブロック決勝で勝利、本戦へ)

#### シングルス予選

大宮 莉彩 1回戦 2対6で敗退

福井 愛央 1回戦 6対2で勝利

2回戦 2対6で敗退

### 講評

1年生にとっては、初めての公式戦だったが、普段練習していることが発揮できた試合であった。ダブルスでは、サービスエースをとり、ラリーではドライブが決まるなど素晴らしい試合であった。今大会で得られたことと反省点を7月のジュニア大会に生かし2回戦を突破できるように練習に日々取り組んで行きたい。(顧問より)

## 文化 部

### 吹奏楽部

第61回滋賀県吹奏楽祭

結果

玉川高校と合同で、『ミュージカル「レ・ミゼラブル」より』を演奏。

コンクールではないので、賞はつかない。近畿高等学校総合文化祭の代表選考にエントリーしていたが、落選した。

講評(吹奏楽連盟会長より講評をいただいている。)

「2校の合同で大変だったと思いますが、しっかり一つになって演奏されています。とても良いサウンドになって客席に届いています。もう少しメリハリがあるとよいのですが。音の立ち上がりがもう少しクリアになるともっとすっきりした音楽になったと思います。パフォーマンスをする人はもっと自信をもって演技しましょう。」

また、口頭で「70名という人数ながら、力押しではない、人数に見合った奥行きのある演奏でした。」とコメントをいただいた。

結果は残念だが、初心者も含めた1年生も全員舞台に乗せて挑んだ演奏としてはベストに近いものを出せたと思う。(顧問より)

### 放送部

第70回NHK杯 全国放送コンテスト 滋賀県大会

結果

アナウンス

1年 上西麗蘭 243点

1年 西村杏胡 254点

(決勝進出は273点以上)

朗読

2年 平松遥 258点

(決勝進出は298点以上)

講評

惜しくも3人とも決勝には残れなかった。

声は褒められており、発声や速度など秋に向かって練習を重ねて欲しい。1年生にとっては大会の様子を肌で感じる良い機会となった。3名とも真面目に取り組んでいるので次回に期待したい。(顧問より)